

令和6年7月18日定例教授会議事抄録

出席者

中島所長

青山、秋葉、板倉、小寺、佐藤、菅、園田、塚本、名和、馬場、古井、梶屋、松田、森本の各教授

上原、額定其勞、小川、藏本、佐橋、田中、柳、渡邊の各准教授

海外渡航者

真鍋教授

欠席者

なし

議事 6月20日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募について 3件【資料P4】
2. 各種研究助成等の募集について 1件【資料P5】

報告事項

3. 所長報告

中島所長より報告があった。

- 1) 国際卓越研究大学構想策定委員会（6月25日） 【資料P6～19】
- 2) 科所長会議（6月25日） 【資料P20～21】
- 3) 教育研究評議会（7月9日） 【資料P22～42】
- 4) 拡大入試監理委員会（7月9日） 【資料P43】
- 5) 科所長会議（7月9日） 【資料P44～45】
- 6) 予算委員会（7月9日） 【資料P46～47】
- 7) 教員の海外渡航（報告） 13件 【資料P48～50】
- 8) 委員、非常勤講師等の応嘱について 2件 【資料P51】
- 9) 寄附金の受け入れについて 1件 【資料P52】
- 10) 外部資金の受け入れについて 1件 【資料P53】
- 11) その他 【資料P54】

・中島所長より、国際学術交流室構築推進担当の准教授の8月1日着任予定が、9月1日に変更する旨報告があった。

・佐藤教授より、東洋文化研究所の組織の再編を検討することとなった経緯について発言があり、案や意見のある場合は8月末までに所長宛に申し出ることとなった。

4. 各委員会報告

1) インフラ委員会【資料 P 5 5 ~ 6 4】

菅委員長より、来日予定の外国人研究者 2 名について、研究室の居室を決定した旨報告があった。

2) 財務委員会【資料 P 6 5 ~ 6 8】

梶屋委員長より、預託金申請及び預託金執行申請について報告があった。

3) 情報・広報委員会

秋葉委員長より、10月19日の東文研公開講座開催スケジュールを検討した旨報告があった。

また、藏本委員長代理（ヘルプデスクメンバー）より、教授会資料の共有方法について、審議項目で検討したい旨説明があった。

4) 研究企画委員会【資料 P 6 9 ~ 7 2】

塚本委員長より、ノースイースタン大学との全学協定が行われ、気候と社会連携研究機構として東文研が参画すること、2024 年度以降の東文研刊行物に 2 名の出版が決定したこと、第 2 回定例研究会を 7 月 25 日に開催することの報告があった。

5) 図書委員会

特になし

6) 東洋学研究情報センター委員会

特になし

7) G A S 委員会

特になし

8) E A A 委員会

特になし

9) 情報セキュリティ委員会【資料 P 7 3 ~ 7 5】

中島委員長より、教授会資料の共有方法について報告があった。なお、問題を整理し、次回の委員会及び教授会にて再度検討することとした。

10) 評価委員会【資料 P 7 6】

森本委員長より、外部評価委員会のメンバーの決定、9月30日（月）に外部評価委員会を実施すること、刊行等の業績を取りまとめる必要があり、先生方に協力を依頼する予定である旨報告があった。

11) 環境安全管理室【資料 P 7 7】

森本室長より、2024 年度防災訓練実施、避難訓練の実施予定について報告があった。また、産業医巡視及び部局長パトロールを、7月30日（火）9：30から実施することのリマインドがあった。

12) アジア研究叢書刊行委員会

松田委員長より、佐藤教授によりオープンアクセスで刊行された著作について、7,000部を超えるダウンロードがあった旨報告があった。また、昨今の円安により予算的な負担が大きくなったことの発言があった。

13) その他

渡邊レクリエーション委員長から、本日開催の行事について発言があった。

5. その他

板倉教授より、訃報について報告があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について【資料 P 7 8】

出張申請者より説明があり、承認された。

7. 国際交流協定について【資料 P 7 9～8 6】

塚本教授より説明があり、コレージュ・ド・フランスとの全学協定の更新（継続）について諮られ、承認された。また、有効期限切れ又は今年度有効期限切れ予定の全学協定・覚書への対応確認について、香港大学との協定について、継続は難しいことから、参画を希望しないと回答することについて諮られ、承認された。

8. 教員人事について

1) 新世代アジア研究部門特任教授（2025年度著名外国人教員）の選考について

中島所長より、特任教授候補者の決定にあたり、出席者が定足数に達しているため本教授会で議決が成立する旨説明があった。推薦教員より候補者の説明があり、続いて選考委員より審査経過及び審査理由等の説明があった後、投票を行った結果、可決された。

2) 客員教授の称号付与について

中島所長より、1) で決定した新世代アジア研究部門特任教授候補者に対して、客員教授の称号付与について提案があり、承認された。

3) 国際学術交流室国際学術担当助教の選考について

中島所長より、助教候補者の決定にあたり、出席者が定足数に達しているため本教授会で議決が成立する旨説明があった。続いて選考委員会委員長及び選考委員から、審査経過及び審査理由等の説明があり、投票を行った結果、可決された。

9. その他 特になし